

第75回新生ふくしま復興推進本部会議 議事録

- 日時：平成29年11月20日（月）9：10～9：15
- 場所：特別室（本庁舎2階）

【鈴木副知事】

ただ今から、新生ふくしま復興推進本部会議を開催します。

議題、「浪江町・特定復興再生拠点区域復興再生計画案」について、避難地域復興局長。

【避難地域復興局長】

浪江町の「特定復興再生拠点区域復興再生計画（案）」について、11月14日付けで町から県への協議がありましたので、その内容についてお諮りいたします。

資料1を御覧ください。計画の期間につきましては、計画が認定された日から平成35年3月まで、避難指示の解除につきましては、平成35年3月を目標としております。

2ページから3ページを御覧ください。3つの地区に拠点を設置し、浪江町の帰還困難区域の復興・再生を図る計画となっております。物流・産業、防災の拠点等として整備する「室原地区」、既に解除された隣接地区と連携し、米、野菜等の実証栽培や畜産・園芸等の実施に向けたモデル事業の展開などを行う「末森地区」、自宅周辺での居住や交流が可能となるよう周辺インフラや交流施設の復旧・整備などを進める「津島地区」の3地区となっております。

区域の規模につきましては、約661haで町全体の約3%になります。

本会議で御了承いただければ、【資料3】のとおり、当該計画案について「異議なし」として、本日付けで町に回答したいと考えております。

国による認定後は、浪江町や国と共に、避難指示の解除に向け、全庁一丸となって拠点区域の整備を進めてまいりたいと考えておりますので、関係部局の御協力をよろしく申し上げます。

以上です。

【鈴木副知事】

今の説明について何かありませんか。土木部長。

【土木部技監】

本計画に位置づけられた「室原地区」、「末森地区」、「津島地区」の3地区の拠点整備を支援するとともに、これらの拠点区域等の安全・安心を確保するため、県道落合浪江線の災害復旧等を進めてまいります。

土木部といたしましては、浪江町の復興に必要なインフラの復旧・維持補修について、国や町と連携しながら、しっかりと取り組んでまいります。

【鈴木副知事】

他に意見はありませんか。

無ければ、浪江町の計画案については「異議なし」として回答することといたします。

知事からお願いします。

【知事】

浪江町の計画案の了承は、国から9月に認定された双葉町、今月10日に認定された大熊町に続き、3件目となります。

浪江町のこの計画は、浪江町の帰還困難区域の復興・再生に向けた、大きな一歩となるものであり、国には、速やかに計画を認定いただき、5年以内の避難指示解除が確実に実現できるよう責任を持って取り組んでいただきたいと思っております。

これからも、帰還困難区域の早期復興、さらには、帰還困難区域を含む避難地域全体の復興・再生を必ず成し遂げるため、国、自治体、関係の皆さんと連携し、しっかりと取り組んでください。

【鈴木副知事】

それでは次に報告事項です。

1つ目、「ふくしま復興のあゆみ」について、企画調整部長。

【企画調整部長】

資料4-1、「ふくしま復興のあゆみ」は概ね四半期ごとに更新しております。今回は8月4日に更新しており、今回はそれ以降の新しい動きを踏まえ、データの更新等を行いました。

主だったところを申し上げますと、3ページ、特定復興再生拠点区域復興再生計画の認定に伴い、双葉町、大熊町の話盛り込んでおります。

また、同じく3ページ、国道114号の自由通行化について記載してお

ります。

7ページ、東北中央自動車道福島大笹生IC－米沢北ICの11月4日の開通を盛り込んでおります。それから、10月21日のJR常磐線運転再開、広域路線バスの運行開始についてもそれぞれ触れております。

また、11ページですが、様々なイベントで観光再生を促進ということで、東京2020オリンピック・パラリンピック復興ふくしま推進会議の設立や、福島空港にベトナムの連続チャーター便が決定した旨も記載しております。

その他、数字等のデータを最新のものに更新しております。

以上です。

【鈴木副知事】

これについて何かありますか。

次に2つ目「財務事務の適正化」について、総務部長。

【総務部長】

資料5をご覧ください。

財務事務の適正化についてであります。重点事業について、今年度第2四半期までの予算執行状況の確認を行いました。

執行率は50.7%と前年度より低下しております。これは、市町村の除染事業において、仮置き場等の集約等に伴う端末輸送が本格化したことに伴い、現場の調整に時間を要することとなり、事業の発注が年度後半にずれ込んだことが主な要因と考えられます。

引き続き各部局における自己点検の徹底を図るとともに、出納局ともより一層の連携を図りながら、財務事務の適正化に努めてまいります。

【鈴木副知事】

これについて何かありますか。

それでは以上で、復興推進本部会議を閉じます。